

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」
第96回（通算第175回）定例会 会議録

- ◆日時：令和6年12月17日（火） PM7：00～8：10
◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂
◆出席者： 14名 + オンライン 3名
別紙のとおり

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：00～20：10】

19：00～ 開 会

19：00～19：05 情報提供

- ・市民向け啓発映画「ケアニン～こころに咲く花～」
- ・地域医療連携カンファレンス「緩和ケア～在宅医療と地域連携～」

19：05～20：10 研修と意見交換

「知ってほしい歯科情報」

～昭和から令和の知識へ～

講師：初山歯科医院

歯科医師 初山 昌平氏

20：10 閉 会

【研修内容】

・歯科に関する興味があまりない。でも退職前にやるべきだった後悔には「歯の定期健診を受ければよかった」「スポーツなどで体を鍛えればよかった」「日頃からよく歩けばよかった」などのデータも。

・昭和と令和の歯科医院

昭和：痛くなったら行くところ → 令和：痛くならないようにいくところ に

・昭和のむし歯の原因と予防法

「細菌」・「歯質」・「砂糖」 → 「歯磨き」・「フッ化物の利用」・「甘味の適正摂取」

・むし歯予防法は変わった！

昭和：早期発見早期治療・砂糖制限・食べたら磨こう

↓

令和：早期発見早期予防・飲食回数制限・フッ素物の利用・予防定期健診

・抜歯原因の第一位は歯周病。歯周病は気づきにくい！歯と歯ぐきの隙間から侵入した細菌が、歯肉に炎症を引き起こし、歯を支える骨を溶かしてグラグラさせてしまう病気を「歯周病」という。

むし歯と異なり痛みが出ないことも多く、気づかないうちに進行し、歯が抜け落ちることもある。

・歯周病を放置すると、血管系の病気や心内膜炎、低体重児出産、誤嚥性肺炎、糖尿病に影響も。

- 健康な身体は歯と口腔の健康から。
- 噛むことが認知症予防につながる。
- 歯数・義歯使用の有無と「転倒」との関係。歯の喪失後、義歯を使わないと 2.5 倍も転倒しやすいデータも。
- 令和の状況
 - むし歯のない子供の増加。むし歯は努力でなくせる。小学生の約7割はむし歯が一本もない。口腔内からネグレクトを探す。先進国ではむし歯は征服された病気に。
- 歯科医師の仕事が変わった。
 - 昭和：むし歯を削って。つめて。神経とって、かぶせて、歯を抜いて、義歯を作る
 - ↓
 - 令和：ブラッシング、歯周病治療、矯正

【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

日時：令和7年1月21日（火） 午後7時～

場所：田辺市医師会館 3F 大講堂

内容：未定

講師：田辺市消防本部